

令和2年度 学校評価 (最終まとめ)



学校評価アンケートへの回答につきまして、御協力くださり、誠に有難うございました。皆様からの回答を集約・分析するとともに、学校運営連絡協議会からの提言を受け、学校評価（最終まとめ）をとりまとめました。

このまとめを今後の教育活動に生かすとともに、よりよい学校づくりに向けて改善・充実への取組を進めてまいります。

東京都立花畑学園

■回答者数及び回収率

区分	回答者数・回収率	回答者のうち、回答手段内訳	
		インターネット回答	紙 回 答
保 護 者	286家庭／330家庭 (86.6%)	73.1%	26.9%
教 職 員	191名／191名 (100%)	インターネット回答	
外 部 専 門 家	16名／16名 (100%)	インターネット回答	
学校運営連絡協議会委員	10名／10名 (100%)	インターネット回答	
対象児童・生徒*	61名／69名 (88.4%)	紙 回 答	

* 保護者の方には、アンケート（インターネット回答）を実施後、学校側で回答が確認できなかった御家庭へ、後日アンケート（紙回答）を実施しました。

■各設問におけるプラス評価の割合

最終まとめでは、各設問の評価のうち、プラス評価、マイナス評価を以下のとおりとしました。ここでは、回答対象ごとに各設問のプラス評価をまとめました。

【評価】（プラス評価）4：そう思う、3：多少そう思う、
（マイナス評価）2：あまりそう思わない、1：そう思わない

	保護者全体	教職員全体	外部専門家	学校運営連絡協議会委員
Q1	95.0%	99.0%	100%	100%
Q2	97.0%	99.5%	93.8%	100%
Q3	96.7%	100%	87.5%	100%
Q4	97.7%	99.0%	93.8%	100%
Q5	79.2%	89.0%	56.3%	100%
Q6	97.7%	98.4%	75.0%	100%
Q7	96.7%	97.9%	87.5%	100%
Q8	94.0%	99.5%	93.8%	100%
Q9	92.3%	96.9%	68.8%	100%
Q10	94.3%	91.6%	93.8%	100%

【意見（抜粋）の記載例】

（知・小・保護者）…知的障害教育部門・小学部・保護者、（肢・高・保護者）…肢体不自由教育部門・高等部・保護者

* 御意見は、原則原文のとおりに掲載していますが、個人が特定されないよう配慮しています。

【保護者等】 Q1 お子様は、毎日楽しく学校に登校していますか。

【教職員】 Q1 児童・生徒が毎日学校へ登校できるように指導・支援をしていますか。

■集計結果



■意見(抜粋)

- バス停に着くと嬉しそうにしていることが多い。学校生活に慣れてきて楽しめているのではないかなと思う。(肢・小・保護者)
- 発語はありませんが、毎日ご機嫌にスクールバスに乗って行くし、連絡帳からも楽しく過ごしているのが分かります。(知・小・保護者)
- 最近は給食で食べられるものも増え、学校で学んできた事を好きな事に活かせていて、自信がついてきたように感じます。(知・小・保護者)

■分析 全体平均として、約 96%のプラス評価となり、児童・生徒が楽しく登校できていることが分かりました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前期は授業参観や個人面談を実施しなかったことが、アンケート回答に多少影響していました。後期には、感染症の状況を踏まえながら、対策を十分に行い、授業参観週間や個人面談を実施し、児童・生徒の学校生活の様子を見学いただきました。

■学校運営連絡協議会からの提言■

教育活動の創意工夫を継続し、児童・生徒の学校生活の充実をさらに図ってください。また、コロナ禍ではありますが、感染症対策を十分に行いつつ、学校・家庭間で児童・生徒の様子についてしっかり情報共有に努めてください。

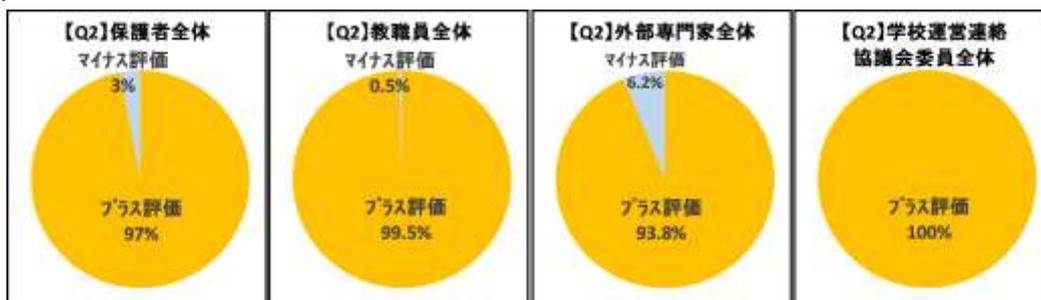
■学校としての来年度への取組■

- ・教職員全員が、児童・生徒が楽しみながら学べる授業づくりにより一層努めます。
- ・スポーツフェスティバルや学園祭等の体育や芸術文化に関する学習を創意工夫して進めます。

【保護者等】 Q2 教職員は人権に配慮して児童・生徒に接していると思われませんか。

【教職員】 Q2 人権に配慮して児童・生徒、保護者、教職員に接していますか。

■集計結果



■意見(抜粋)

- 面談のときなどすぐく子供のことを考えてくださっているのが分かって嬉しくなりました。(知・小・保護者)
- 連絡帳にも色々記入してあったり、学校に行った際に先生等と話をしたりしますが、(子供のことを)良く見ているなと思いました。(知・小・保護者)
- やさしいだけでなく、威厳もあり程よく緊張感があって娘には合っていると直接お話して感じました。(知・小・保護者)

■分析 全体平均として、約 97%のプラス評価となりました。各関係者からの評価により、児童・生徒の人権に配慮した指導・支援が適切に行われていることが分かりました。

特別支援学校に勤務している教職員には、より高い人権感覚、人権意識が求められます。様々な場面において、教職員が児童・生徒の人権に配慮した指導・支援をすることが必要です。

■学校運営連絡協議会からの提言■

児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、研修内容を活用し、人権に配慮した授業や指導の工夫を継続してください。教職員の人権意識は、児童・生徒の学習意欲にも密接につながりますので、適切な配慮をお願いします。

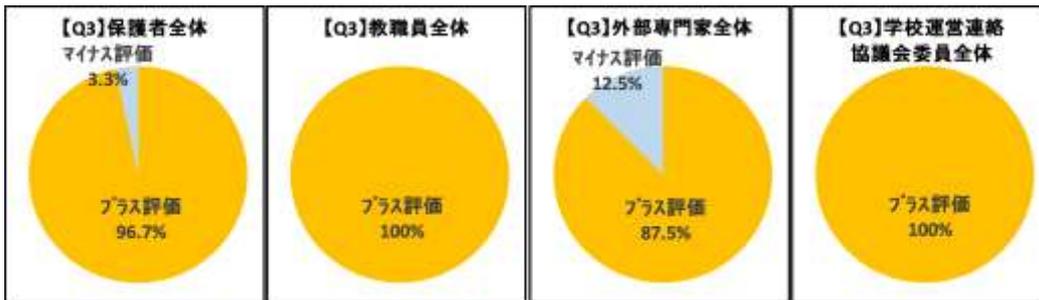
■学校としての来年度への取組■

- ・児童・生徒が安心して学校生活を過ごせるよう、人権に配慮した指導の徹底を一層図ります。
- ・教職員への研修を継続実施し、いじめ、体罰のない学校づくりを進めます。

【保護者等】 Q3 学校経営計画や年間・個別指導計画に即して、教育活動が行われていると思われませんか。

【教職員】 Q3 学校経営計画や年間・個別指導計画に即して、教育活動、業務を行っていますか。

■集計結果



■意見(抜粋)

- 子供の特性や得意なこと苦手なことをしっかりと把握してくれていて学校生活や授業に取り組めるように関わってくれていると思います。(知・小・保護者)
- 個別指導計画を通じて先生達が日頃よく見ているのがよくわかり感謝しています。(肢・小・保護者)
- (個別指導計画で)できること、これからの目標をわかりやすく提示していただきました。(知・小・保護者)

- 個別指導計画に目標達成への手立てがあり、わかりやすいです。(知・中・保護者)

■分析 全体平均は、約 96%のプラス評価となりました。児童・生徒一人一人の実態に応じて指導計画が立てられ、評価されていることが分かりました。指導計画は、児童・生徒の指導・支援に関わる教職員、保護者、外部専門家を含めた関係者全員でよりよいものへ改善していくことで、児童・生徒の課題達成へとつなげていくことが求められます。

■学校運営連絡協議会からの提言■

各指導計画は、児童・生徒への指導・支援の根幹となるものです。本人、保護者の願いを反映した学校生活支援シートに基づいて、個別指導計画を綿密に作成して、一人一人に応じた指導を行い、校内で学習評価の充実を図ってください。

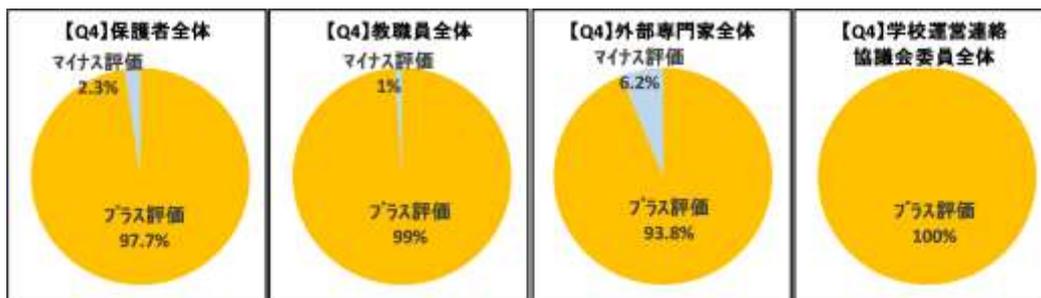
■学校としての来年度への取組■

- ・各指導計画を活用し、児童・生徒一人一人に応じた指導・支援の充実を図ります。
- ・学習活動の創意工夫を教職員間で情報共有し、校内全体でのスキルアップを目指します。

【保護者等】 Q4 授業の内容や手だては、お子様の課題に合わせて、工夫されていると思われませんか。

【教職員】 Q4 授業の内容や手だて、担当業務を対象の実態や課題に応じて、工夫していますか。

■集計結果



■意見(抜粋)

- 子供が色々できる事が増えていてびっくりすることがあるくらいです。(知・小・保護者)
- 個別学習の教材棚を拝見しましたが一人一人に合わせて準備がされていると思います。(知・小・保護者)
- 先生が工夫して乗り越えられる課題を提示して下さる事で、子供が達成感も味わえており、とても成長を感じます。担任の先生は、面談時などもしっかりと話を聞いてくださり、授業に反映して頂いています。(知・小・保護者)

- 大変工夫してくださっていると感じます。子供の可能性を見て課題を出していただいています。(知・小・保護者)

■分析 全体平均として、約 97%のプラス評価となりました。児童・生徒の学習状況に応じて、指導が行われていることが分かりました。児童・生徒が学びを深めるためには、日々の授業の充実とともに、卒業後に向け、年度ごとの引継ぎを適切に行い、継続した指導を行うことが必要です。

■学校運営連絡協議会からの提言■

児童・生徒の将来の希望を叶えるためには、一人一人の実態や学習状況に応じた指導や授業の創意工夫、環境整備が必要不可欠です。そのために、担任が児童・生徒の学習状況をしっかり把握し、校内で必要な手立てを検討してください。

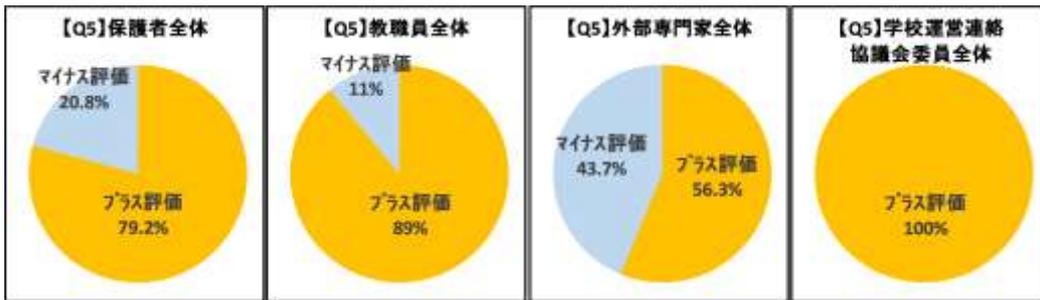
■学校としての来年度への取組■

- ・児童・生徒一人一人が学習に意欲的に取り組めるよう、各学級の教室環境を工夫します。
- ・児童・生徒一人一人に応じた指導を充実させるため、教職員の研修方法を創意工夫します。

【保護者等】 Q5 併置する教育部門が、それぞれの専門性を協同・相乗させた教育活動が行われていると思われませんか。

【教職員】 Q5 それぞれの教育部門や部署の専門性を協同・相乗させて教育活動を行っていますか。

■集計結果



■意見(抜粋)

● 今の状況ではなかなか難しいと思いますが、せっかく一緒になったのですから、肢体不自由教育部門の子供でも認知面を知的障害教育部門の先生に、知的障害教育部門の子供でも身体面を肢体不自由教育部門の先生に実際に見てもらいアドバイス等をもらい、日々の指導に活かして欲しいです。(肢・高・保護者)

■分析 全体平均は、約 71%のプラス評価となりました。肢知併置校として、両教育部門の専門性の協同・相乗に対して、今後の期待の高さが表れていました。児童・生徒の多様な実態に対して、部門を越えて知識や技術を共有し、指導力を向上させることが必要です。11月末以降、教材展や私の知識お分けしますプランを実施し、全校教職員の指導・支援の力を高めています。HPやTwitterで配信していますので、是非御覧ください。

■学校運営連絡協議会からの提言■

今年度の教材展／校外研修報告等の発表資料は、教職員一人一人のオリジナリティあふれるものでした。来年度は、早い時期から研修を設定し、両部門の教職員が専門性を共有し、お互いに高め合える環境を作っていくください。

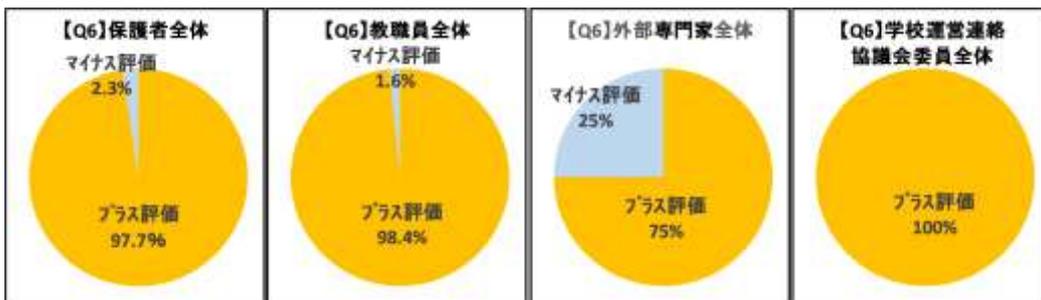
■学校としての来年度への取組■

・教職員の専門性を活用し、児童・生徒一人一人に応じた指導・支援の向上を目指します。
・教職員に加え、外部専門家の専門性も活用しながら、創意工夫した研修を実施します。

【保護者等】 Q6 連絡帳や電話でのやり取りを含めて、担任との連携は図れていますか。

【教職員】 Q6 保護者に対して適切に対応し、連携は図れていますか。

■集計結果



■意見(抜粋)

○ 毎日、連絡帳を分かりやすく書いていただいています。また、何かハプニングがあればすぐにお電話くださり、とても助かっています。私からも先生にお電話や連絡帳で相談しやすい環境を作っていただき、感謝しています。(知・小・保護者)

○ お忙しい中、気を配ってくださり、ありがとうございます。また、子供の性格等も良く把握されていると思います。先生が一生懸命指導してくださるので、安心して子供を

任せられますし、親の方も頑張ろうという気持ちになります。(知・小・保護者)

■分析 全体平均は、約 93%のプラス評価をいただきました。各担任が児童・生徒の日々の様子を把握し、適切に御家庭へ伝えることができていたことが分かりました。また、御家庭からの情報を学校関係者と共有し、日々の指導・支援に活かしていくことが必要です。

■学校運営連絡協議会からの提言■

児童・生徒の指導の充実に向けては、学校・家庭間のコミュニケーションが必要不可欠です。学習面を含め、学校に係ること全般について、ささいな内容でも、担任・家庭間で日頃から相談や情報共有できる風土をもち続けてください。

■学校としての来年度への取組■

・連絡帳の記載内容や電話連絡を創意工夫しながら、家庭と綿密に情報共有していきます。
・児童・生徒の日々の様子を学校関係者と共有し、学習指導への活用に努めます。

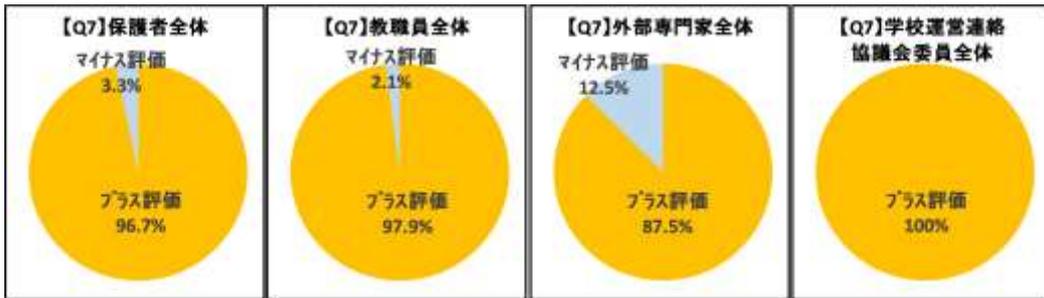
【保護者等】

Q7 生活・交通・災害安全に関する指導が行われていると思われませんか。

【教職員】

Q7 生活・交通・災害安全に関する指導内容や担当業務の課題を理解して指導、業務を行っていますか。

■集計結果



■意見(抜粋)

- 見学できないので何ともいえませんが、「地震が来たらどうするの?」と子供に聞いたところ「かぶる」と答えました。訓練のおかげだと思います。引き続きよろしくをお願いします。(知・小・保護者)
- 通学バスルートの詳細がわからないため、災害時不安である。バスルート図がほしい。(肢・小・保護者)
→肢体不自由教育部門の御家庭へのバスルート図の配布を、1月に行いました。

○ 避難訓練に数回参加しましたが、組織的によくおこなわれていると思います。マニュアルなどもしっかり整備されていることと思います。(外部専門家)

■分析 全体平均として、約96%のプラス評価がありました。学校として生活・交通・災害安全に関する指導を適切に行えていることが分かりました。実際の災害時に、児童・生徒全員の安全を確保できるよう、教職員、保護者、外部専門家を含めた関係者全員が連携できるように準備することが必要です。

■学校運営連絡協議会からの提言■

児童・生徒が安全に学校生活を送ることができるよう、環境の整備や、実態に応じた指導の工夫を図ってください。区や警察署・消防署、地域住民など、関係諸機関との連携を進め、災害時迅速に対応できる体制づくりを進めてください。

■学校としての来年度への取組■

- ・児童・生徒の安全な学校生活のため、施設設備の整備、災害時の体制づくりを目指します。
- ・関係機関と連携し、児童・生徒、教職員、保護者の安全・防災に関する知識を深めます。

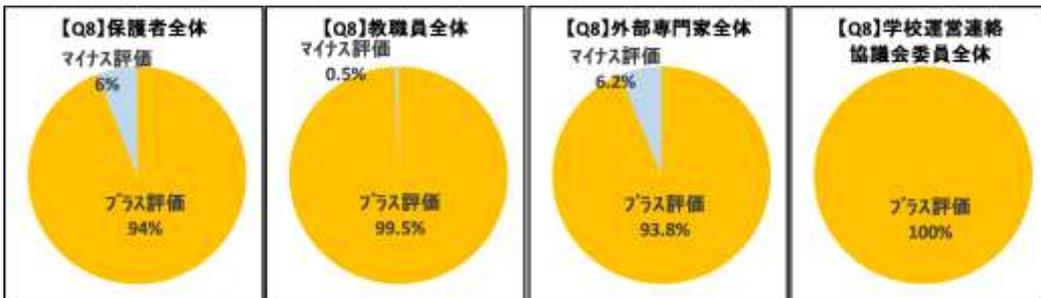
【保護者等】

Q8 将来を見据え、自立と社会参加を意識した指導を行っていると思われませんか。

【教職員】

Q8 卒業後の自立と社会参加を意識した指導や業務を行っていますか。

■集計結果



■意見(抜粋)

- 将来に漠然とし不安があるので、社会参加に関してはすごく関心があります。子供に影響がない場所からキャリア教育の授業の様子が見学できると、子供の将来の適性について親も理解しやすくなると思います。何が子供にできて、何に向いているのか、知りたいです。見学の機会を作っていただくと大変ありがたいです。(知・小・保護者)

○ 今の担任の先生は、先の事を見据えて課題を出してくださって助かります。私も気付かない所もあったりするので大変助かります。(知・小・保護者)

■分析 全体平均で約97%のプラス意見がありました。将来の自立と社会参加に向けた学習への期待が表れていました。教科学習とともに、職業観・勤労観の育成も必要です。コロナ禍での授業見学は未だ設定が難しい部分がありますが、学校として一層の情報発信を行っていく必要があることが分かりました。

■学校運営連絡協議会からの提言■

児童・生徒の自立と社会参加に向け、小・中・高等部で系統的な指導をさらに推進してください。学校生活支援シート等を活用し、学校・保護者間で将来を見据えた一人一人の目標を共通認識し、日々の指導・支援の充実をお願いします。

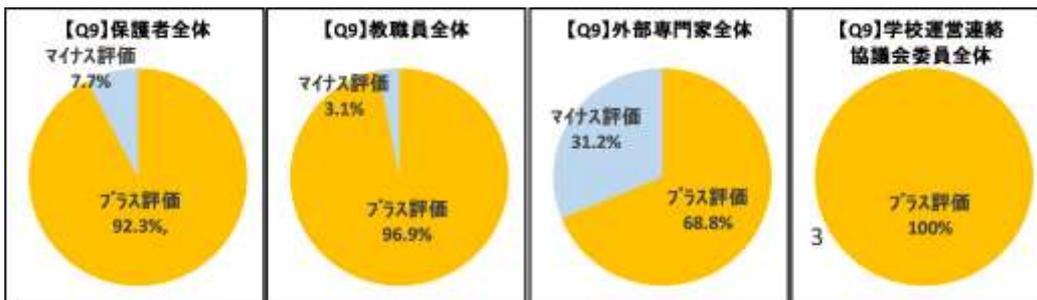
■学校としての来年度への取組■

- ・外部専門家と連携してアセスメントを行い、児童・生徒の実態把握を丁寧に行います。
- ・実態把握に基づいて、一人一人に適切な課題を設定し、学習指導の創意工夫を図ります。

【保護者等】 Q9 学校は、関係する機関と連携して、お子様の指導を進めることができますか。

【教職員】 Q9 関係する機関と連携して、指導、業務を行えていますか。

■集計結果



■意見(抜粋)

- 副籍制度について学校はコロナの状況に配慮して、提案してください。(知・小・保護者)
- 進学先に進むため、(進学に向けた)段取りを組んでいただいて、感謝しています。(知・中・保護者)
- コロナ禍の影響で保護者や関係者が学校へ集まる機会が減り、本来得られるはずの情報が得られていない可能性があったり、情報共有・意見交換がきちんとできていなかったりすることがあれば心配である。(肢・小・保護者)

■分析 全体平均は、約 90%のプラス評価となりました。副籍制度の地域指定校や、関係機関との連携は、高い注目度であることが分かりました。今年度はコロナ禍のため、関係機関と直接話し合う会議設定が難しかった面もありました。現在の社会的な状況を踏まえ、様々な機会を活用した関係機関との連携を継続していく必要があります。

■学校運営連絡協議会からの提言■

コロナ禍のため、関係機関との直接的な会議はどれも難しいと考えられます。関係機関との連携では、電話やメール等のツールを積極的に使用しながら児童・生徒の情報交換し、保護者へその情報を伝える工夫を検討してください。

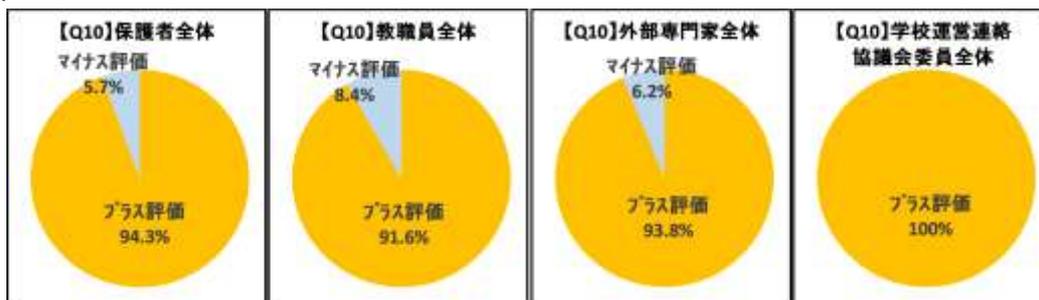
■学校としての来年度への取組■

- ・児童・生徒の指導・支援の充実に向け、各学校や関係機関との情報交換に一層努めます。
- ・担任、担当分掌から保護者の方の理解が深まるよう、情報発信の充実を図ります。

【保護者等】 Q10 職員のライフ・ワーク・バランスについての取り組みは適切だと思われませんか。

【教職員】 Q10 業務のスリム化、定時退庁日設定など、ライフ・ワーク・バランスを意識して業務を遂行していますか。

■集計結果



■意見(抜粋)

- 学校職員さんのライフ・ワーク・バランスについては今までが激務だったかと思うので良いと思います。(肢・中・保護者)
- 休憩時間の確保がされているのか気になります。子供からの話で、いつも忙しくされていて先生のお仕事は大変そうだと聞いています。親からは安心して預けられていますし子供も楽しく登校させていただいていますが、先生方も少しでも過ごしやすくしていただけると良いと思います。(肢・中・保護者)

- 休校中の先生方の働きと勇気に感謝します。(知・小・保護者)

■分析 全体平均として、約 95%のプラス評価がありました。職員のライフ・ワーク・バランスの維持に理解を示されていることが分かりました。

現在、国や都の指針を踏まえ、校内では業務のスリム化を進めていますが、日々教職員が児童・生徒の学習指導や安心・安全な学校生活に向けた取組も適切に行っています。

■学校運営連絡協議会からの提言■

児童・生徒の学校生活の充実に向けては、教職員の心身の健康保持のための方策が必要不可欠です。保護者には、児童・生徒の毎日の様子を適切に伝えることができるよう、連絡帳の記載等をより一層創意工夫していく必要があります。

■学校としての来年度への取組■

- ・「学校における働き方改革推進プラン」(都教委)に基づき、業務の効率化に努めます。
- ・児童・生徒の日々の様子を御家庭への確に伝えられるよう努めていきます。

令和2年度 学校評価(児童・生徒対象) 集計結果

学校評価アンケート(児童・生徒)は、対象児童・生徒へと以下のとおり実施しました。

■アンケート実施期間・実施方法

令和2年11月9日から11月20日まで ・紙回答

■アンケート対象者

【肢体不自由教育部門】B・Cグループの児童・生徒

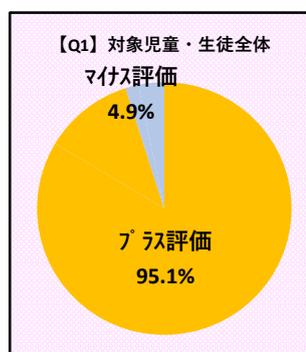
【知的障害教育部門】 中学部第3学年生徒

■アンケート回収率

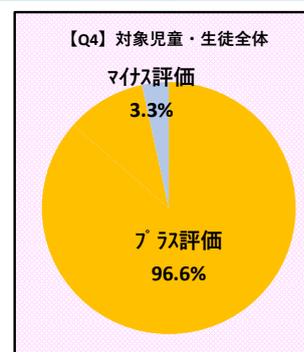
回答者数 61名/69名中

回収率 88.4%

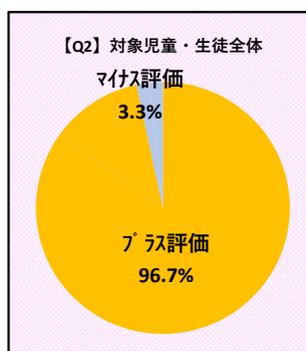
Q1 学校は楽しいですか。



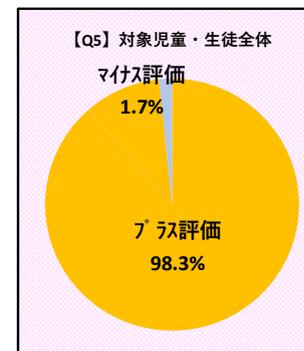
Q4 担任の先生や学年の先生は話しやすいですか。



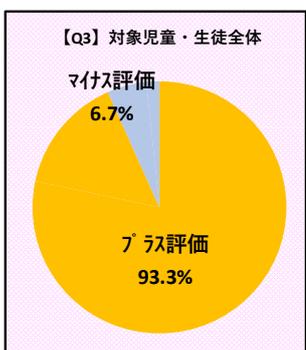
Q2 先生たちの態度や言葉の使い方は丁寧ですか。



Q5 校内は清潔で安全に生活することができますか。



Q3 授業の内容は工夫され、分かりやすいですか。



全ての問いにおいて、9割を超えるプラス評価がありました。大部分の児童・生徒が安心して学校生活を送れていることが分かりました。100%のプラス評価となるよう、児童・生徒の思いをしっかりと聞いていきます。

花畑学園の児童・生徒全員がときめきのある学校生活を送ることができるよう、学校・御家庭・外部専門家・関係機関等の間でより一層連携しながら、指導・支援を進めてまいります。